

「モノレールについて」

1. 千葉駅～県庁間の数値データ

表 1 各種数値 (H22 年度実績)

	延長 (km)	列車キロ (列車 km/日)	利用者数 (人/日)
①千葉～県庁前	1.7	250	3,800
	(11.2%)	(7.3%)	(8.4%)
②千葉みなと～千城台	13.5	3,190	41,500
	(88.8%)	(92.7%)	(91.6%)
合計	15.2	3,440	45,300
	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)

※①の利用者数は栄町、葭川公園、県庁前の3駅利用者数

※列車キロ＝列車運行本数×運行距離

表 2 千葉モノレールの決算 (億円)

営業収入	30.1
営業費	26.5
営業損益	4.6

2. モノレール沿線のまちづくり

(1) 沿線まちづくりは増客の要

- ・モノレール沿線の利用者客の増進 (市営住宅や社員寮の更新など)

(2) モノレールの努力

- ・お客様目線でのサービス改善
- ・安全、安定輸送
- ・経費節減
- ・地球環境への配慮

(3) 利用促進の働きかけは関係者の協働事業

(4) 中期経営計画 (H23~25) 行動計画の位置付け

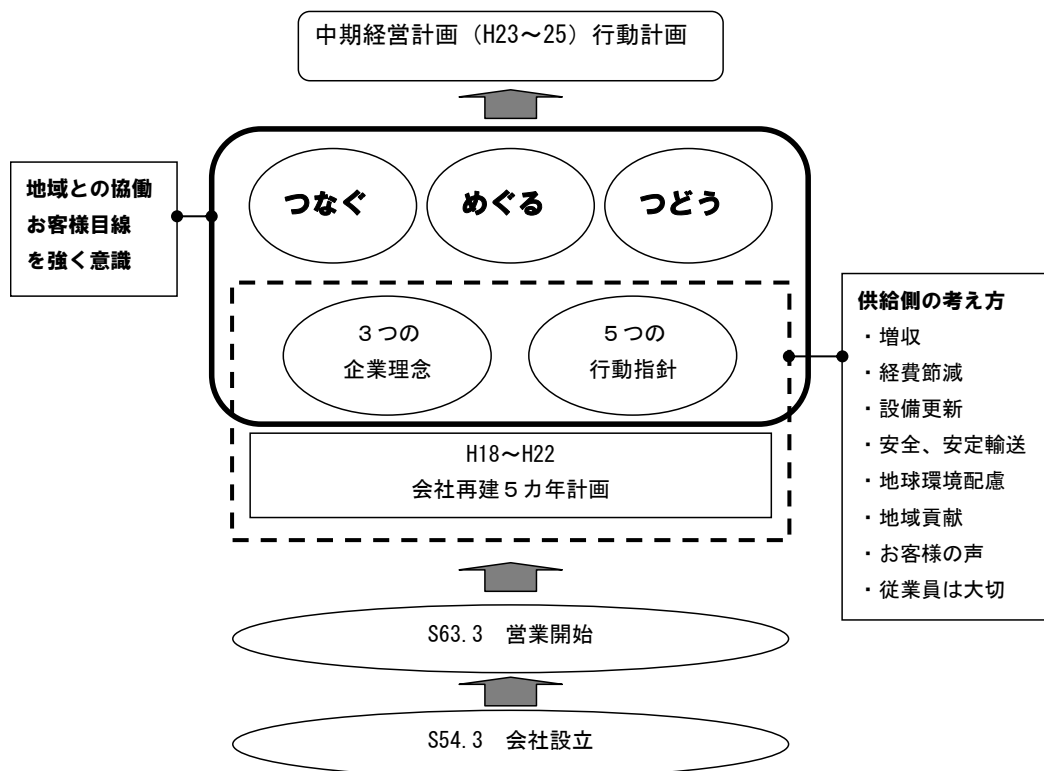


図1 行動計画の経緯と位置付け

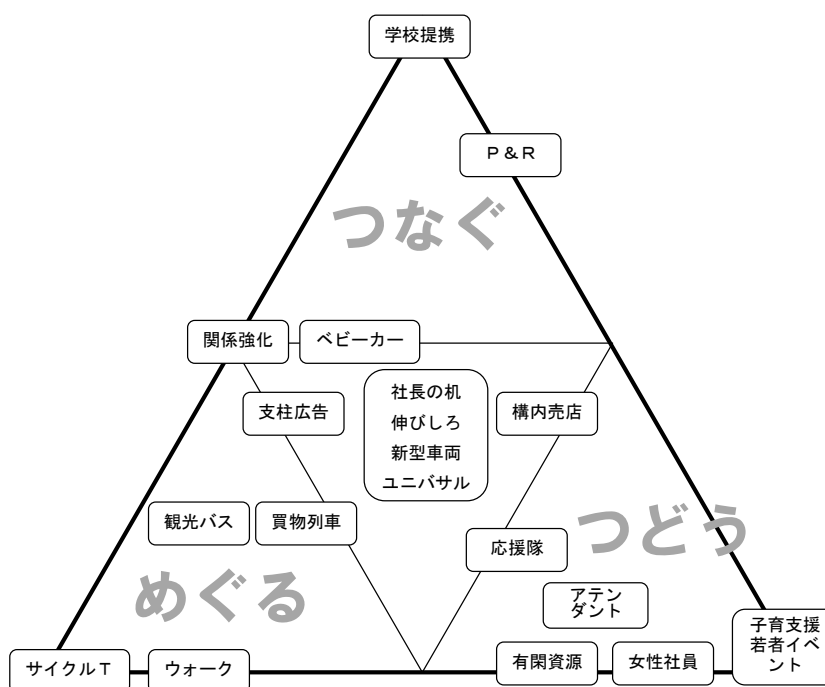


図2 行動計画の内容

（参考資料）中期経営計画（H23～25）行動計画

1. モノレール応援隊

沿線住民の活動拠点として無人駅を貸し出し、住民活動の傍らモノレール応援隊として簡易な業務を代行していただきます。

2. 新型車両の活用

新型車両5編成を導入。懸垂型モノレールの特長を生かし、通勤車両としてだけでなく観光車両としても活用します。

3. パーク&ライド事業

モノレール駅周辺でパーク&ライドとして活用可能な土地を駐車場として整備されるよう関係者間の調整を行います。

4. 駅構内を活用した若者イベント等の連続開催

駅空間を若い演奏家、芸人等にパフォーマンス会場として無料提供します。

5. 支柱等インフラ部を活用した広告掲出

千葉市所有のモノレール支柱等インフラ施設を広告媒体として活用していきます。

6. 沿線施設・企業・団体等との関係強化

沿線観光施設・事業者・沿線学校等との連携を強化し、モノレールを活用した連携事業やイベント等を実施します。

7. 駅設備のユニバーサルデザイン推進

大学の研究グループと共同で駅構内の動線や設備をユニバーサルデザインの視点から総点検し、誰もが利用しやすい駅とします。

8. 安全・サービスに係る諸設備の更新

自動列車制御装置（ATC/TD）、列車無線装置、駅務機器等の設備更新を計画的に進めていきます。

9. 駅舎内及び駅周辺土地を活用した多角経営

10. 千葉モノレールブランドデザインの構築

11. 自転車持ち込み優先列車の運行

12. 買物電車

13. モノレール&コミュニティサイクル

14. 送迎・観光バス&モノレール

15. 子育て支援・育児支援

（参考資料）企業理念他

■コーポレートスローガン「安全・笑顔・真心 千葉モノレール」

■企業理念「大空かける千葉モノレール」

千葉モノレールは、お客様に安全で快適なサービスを提供します。

千葉モノレールは、地球環境を大切にし、社会に貢献します。

千葉モノレールは、創意と工夫で活力ある会社になります。

■行動指針

私たちは、お客様の安全を最優先します。

私たちは、お客様の声を大切にします。

私たちは、明るく笑顔であいさつします。

私たちは、売上を増やし無駄を省きます。

私たちは、活気ある明るい職場をつくります。